



どうなった

ゆくえ

あの一般質問の行方は

大崎町内の橋梁^{りょう}の設置状況と点検状況について

町内の橋を見ると、経過年数を経た橋梁が多い。国道・県道は、定期点検や日常のパトロールで点検されているが、本町は、どのような基準で点検を行っているか。

平成 21 年 12 月定例会 神崎 文男議員

町長答弁

住民の安全を守るためにも重要課題として捉えている

本町の橋梁のほとんどが高度経済成長期に建立されており、今後老朽化の時期を迎え、管理費が増大する。今後、事後的な修繕及び架け替えから、予防的な維持管理手法の転換を図る。

町長答弁

こうなりました

橋梁長寿命化計画を策定

現在の橋を良好な状態で安全に長く維持するため、平成 23 年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。この計画は橋の長寿命化を図ることでライフサイクルコストの縮減と安全・安心な通行を提供するもので、今後は、この計画に基づき橋梁の点検・管理や修繕等を計画的に行うこととしている。 建設課所管

医療費の抑制に対する取組みについて

それぞれの市町村が医療費の拡大に大変危惧している。本町も高齢化の伸び率が 32% であり、抑制に対する努力をしているが、「ジェネリック医薬品」の普及について、取り組む必要があると思うが。

平成 23 年 3 月定例会 小野 光夫議員

町長答弁

本町も取り組みはしている

本町も保険証の更新時に被保険者の方に配布はしているが、利用が進んでいないのは現実である。この医薬品を使えば半額で済むと言われている。今後、検討して普及に努めたい。

町長答弁

こうなりました

「ジェネリック医薬品希望カード」を配布

医療費を抑制できるジェネリック医薬品の利用促進を目的に、処方箋でジェネリック医薬品を希望することを伝えることができる「ジェネリック医薬品希望カード」を配布するとともに、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の医療費の削減額を示した「ジェネリック医薬品利用差額通知」の送付を行っている。 保健福祉課所管

※ 過去の定例会での一般質問の中から一部をピックアップして、その後、どのように町政に反映されたかを検証します。